

公園や周辺で見られる生物などを紹介します
 総集編③ 八色の森～夏～

田植えが終わり、田んぼに水が張られたころ、八色の森も夏を迎えます。木々はすっかり葉を茂らせ、来園者に日陰を提供しています。

初夏の夕方、湿地池ではヘイケボタルを見ることができます。八色の森のヘイケボタルは年々生息数が増えているようです。

自遊池ではミソハギの花が満開になります。岸边にはヨシやヒメガマなどの抽水植物が茂りだします。水上には全身が赤いショウジョウトンボ、羽根が黒くて広いチョウトンボ、白黒のコシアキトンボなどが飛びます。いずれも池の環境に適したトンボです。

夕方、地面からはい出したアブラゼミの幼虫は木を登っていきます。夜になると羽化が始ま

ります。同じころ、ナラの樹液にカブトムシやクワガタムシ、ちょっと怖いですがスズメバチなどが集まります。

子どもたちが公園の中を元気に駆け回り、夏の八色の森は活力に満ちています。



News Plaza みなみうおぬまニュースプラザ

高齢者叙勲「旭日単光章」を受章 川上 秀之^{ひでゆき}さん〔水尾〕 元大和町議会議員

川上さんは、昭和55年12月から4期16年間の長きにわたり、大和町議会議員として務められ、昭和63年12月から平成4年11月までは大和町議会副議長、平成7年3月から平成8年11月までは大和町議会議長として、地方自治の推進などに尽力されました。

川上さんは「当時は大和町と六日町の合併に向けた準備のために、大変なことがたくさんありました。思いがけない受章でしたが、大変光栄に思っています。みなさんのおかげです。感謝しています」と語りました。



※高齢者叙勲は、国家や公共のために功労があった88歳になられた人に授与されるものです

秋の褒章「藍綬褒章」を受章 細矢 祥子^{しょうこ}さん〔仙石〕

細矢さんは、平成10年4月に保護司となり、長年の更生保護活動の功績により受章されました。現在も南魚沼地域を中心に、保護観察に付された人の改善更生や、毎年行われている「社会を明るくする運動」を通して、犯罪・非行を防止し、更生を支える地域づくりに尽力されています。

細矢さんは、「これまでの活動が認められたこと、先輩や共に活動する保護司のみなさんのご指導に深く感謝しています」と語りました。

